

エコアクション21

環境活動レポート

〔期間 平成22(2010)年1月～平成22年12月〕

作成日：2010年5月14日



IKK 石川金網株式会社
ISHIKAWA WIRE NETTING CO.,LTD.

事業内容

事業所名	石川金網株式会社
代表者名	代表取締役社長 石川幸男
所在地	〒116-0002 東京都荒川区荒川5-2-6
電話番号	03-3807-9761
FAX番号	03-3807-9764
環境管理責任者	石川 カオリ
E-mail	info@ishikawa-kanaami.com
事業内容	金属加工業・金網フィルターの製造販売
資本金	3千万円
従業員数	29名
売上高	712百万円('10年度)
事業所の総床面積	1,906㎡

その他事業所	石川金網株式会社厚木事業所
所在地	〒252-1121 神奈川県綾瀬市小園828-1
電話番号	0467-79-0789
FAX番号	0467-79-0489

環境方針

基本理念

当社は、地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、社員一人一人が自覚を持ち、環境負荷の継続的
低減及び持続的に発展できる経済社会の実現に寄与すべく努めることに全社一丸となって取り組みます。

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、当社の全事業活動におい
て、特に以下の環境保全活動を推進します。

行動指針

1. 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。
2. 金網製品製造の事業活動を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。
3. 金網製品製造の事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。
4. 金網製品製造の事業活動を通じて、金網原材料の有効活用を推進し、金属材料のリサイクル活動に取り組み
ます。
5. 我々社員一人一人は、環境に関する法規制および当社が約束したその他の事項を遵守します。
6. 我々社員一人一人は、環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みま
す。

2008年9月20日 制定

2010年2月10日 改訂

2011年2月15日 改訂

石川金網株式会社

代表取締役社長 石川幸男

環境目標とその実績

〔年度:1月～12月〕

環境方針	環境目標と実績					
	項目	施行期間 平成22年1月～12月		平成22年活動計画	中長期目標 平成24(2012)年度	
		目標	実績 (達成率)	環境活動計画	目標	実績 (達成率)
1 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	101 営業車両から出る二酸化炭素を削減する (ガソリン車)	各車両の燃費をH19(2007)値から3%削減する	目標値:38642 実績値:28222 達成率:136.9%	101①各車両の燃費の月別測定・監視 101②エコドライブの徹底	各車両の燃費をH19(2007)値から5%向上させる	
	102 製造車両から出る二酸化炭素を削減する (軽油車)	各車両の燃費をH19(2007)値から3%削減する	目標値:25762 実績値:18852 達成率:136.7%	102①各車両の燃費の月別測定・監視 102②エコドライブの徹底	各車両の燃費をH19(2007)値から5%向上させる	
	103 事務・営業部門から出る二酸化炭素を削減する。	電力使用量をH19(2007)値から0.8%削減する	目標値:37722kw 実績値:36198kw 達成率:104.2%	103①必要ではない照明、電源を消す。 103②エアコンの設定温度を夏28度、冬23度を目安とする	電力使用量をH19(2007)値から1%削減する	
	104 製造部門から出る二酸化炭素を削減する (電灯電力)	電力使用量をH19(2007)値から0.8%削減する	目標値:46120kw 実績値:29987kw 達成率:153.8%	104①必要ではない照明、電源を消す。 104②エアコンの設定温度を夏28度、冬23度を目安とする	電力使用量をH19(2007)値から1%削減する	
	105 製造部門から出る二酸化炭素を削減する (動力電力)	電力使用量をH19(2007)値から0.5%削減する	目標値:40563kw 実績値:40960kw 達成率:99.0%	105①必要ではない機械電源を消す。	電力使用量をH19(2007)値から1%削減する	
2 金網製品製造の事業活動を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	201 事務部門/営業部門から出る事業系一般廃棄物を削減する。	事業者への委託量を測定、把握する	達成率:100%	201①分別の徹底により再資源化物を増やす。	事業者への委託量をH19(2007)値から3%削減する	
	202 製造部門から出る産業廃棄物を削減する。	売上高百万円あたりの再資源化物(金属屑)排出量の比率をH19(2007)値から3%削減する	目標: 43.2ポイント 実績: 30.6ポイント 達成率:141.1%	202①効率の良いカッティングなどを工夫する。	売上高百万円あたりの再資源化物(金属屑)排出量の比率をH19(2007)値から5%削減する	
3 金網製品製造の事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。	301 水の総使用量を削減する。	水の総使用量をH19(2007)年度から2%削減する	目標値:232㎡ 実績値:257㎡ 達成率:90.4%	301①水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける。	水の総使用量をH19(2007)年度から5%削減する	
4 金網製品製造の事業活動を通じて、金網原材料の有効活用を推進し、金属材料のリサイクルに取り組みます。	401 リサイクルシステムを構築し、協力企業の拡大を目指す。	売上高百万円当たりの再資源化物(使用済み金網)回収量の比率をH21(2009)値から10%アップする	目標: 37.8ポイント 実績: 54.6ポイント 達成率:144%	401①使用済み金属スクリーンの回収を拡大し、資源のリサイクルを行う。	売上高百万円当たりの再資源化物(使用済み金網)回収量の比率をH21(2009)値から10%アップする	

5 我々社員一人一人は、環境に関する法規制及び当社が約束するその他の事項を遵守します。	501 環境関連法規及び当社の約束事項の遵守。				全社員が環境関連法規の遵守をする	
6 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。	601 環境方針の全社的展開	環境目標、環境活動計画の策定 絵の従業員の参画	達成率:100%	601①全従業員の環境方針カードの常時携帯	全社員が環境活動計画を分担する	

※ 車両から出る二酸化炭素のH19からの削減数値は、H19の燃費データがとってない為、燃料使用量数値とした。

2011年2月改訂

主要な環境活動計画の内容

◎目標達成 ○改善されてきている △現状維持 ×悪化している

環境方針	環境目標	環境活動計画[平成22(2010)年10月～12月]	判定
1 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組めます。	101 営業車両から出る二酸化炭素を削減する (ガソリン車)	101① 各車両の燃費の月別測定・監視	◎
		101② エコドライブの徹底	○
	102 製造車両から出る二酸化炭素を削減する (軽油車)	102① 各車両の燃費の月別測定・監視	◎
		102② エコドライブの徹底	△
	103 事務・営業部門から出る二酸化炭素を削減する。	103① 必要ではない照明、電源を消す	◎
		103② エアコンの設定温度を夏28度、冬22度を目安とする	◎
	104 製造部門から出る二酸化炭素を削減する (電灯電力)	104① 必要ではない照明、電源を消す	◎
104② エアコンの設定温度を夏28度、冬22度を目安とする		◎	
105 製造部門から出る二酸化炭素を削減する (動力電力)	105① 必要ではない機械電源を消す	◎	
2 金網製品製造の事業活動を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組めます。	201 事務部門/営業部門から出る事業系一般廃棄物を削減する。	201① 分別の徹底により再資源化物を増やす	◎
		202① 製造部門から出る産業廃棄物を削減する。	◎
3 金網製品製造の事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組めます。	301 水の総使用量を削減する。	301① 水を使用する場合な、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける	△
4 金網製品製造の事業活動を通じて、金網原材料の有効活用を推進し、金属材料のリサイクル活動に取り組めます。	401 リサイクルシステムを構築し、協力企業の拡大を目指す。	401① 使用済み金属スクリーンの回収を拡大し資源のリサイクルを行う。	◎
5 我々社員一人一人は、環境に関する法規制及び当社が約束したその他の事項を遵守します。	401 環境関連法規及び当社の約束事項の遵守。	501① 全社員が環境関連法規に関心を持ちその遵守に努力する。	◎
6 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組めます。	601 環境方針の全社展開	601① 全従業員の環境方針カードの常時携帯	○
		601② 部門別環境目標、環境活動計画の策定化の検討	○

環境活動の取組結果の評価

(活動期間:平成22(2010)年1月～12月)

- (1) 車両から出る二酸化炭素の削減の目標値に対し、平成22年度は前年に対し燃費での比較が初めてできた。これにより目標の明確化ができエコに意識をさらに高めることができた。(エコドライブは、さらに推進する。)
- (2) 平成22年度において環境方針に使用済み金網の回収、リサイクル活動の取り組みを掲げた。
実行は平成21年4月から行い、22年度はそのシステムの確立をめざした結果、順調に推移したと思われる。
- (3) 全社的に社員個々の業務を進める中でさらに地球環境エコを合言葉にこの活動の推進に努力をする。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 環境法規制の遵守状況

法令の名称	関連する施設・適用項目	遵守状況
廃棄物の処理および清掃にかかわる法律	可燃ごみ 不燃ごみ 資源ごみ (一般廃棄物)	○
荒川区廃棄物の処理および再利用に関する条例	金属スクラップ (事業系廃棄物)	○
廃棄物処理法	廃プラ 紙 木屑 廃油 産業廃棄物保管施設	○
東京都公害防止条例	認可工場	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者	○
自動車NOx・PM法	所有車両	○
オフロード法	フォークリフト	○

2. 訴訟の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの重大な違反等の指摘は、過去三年間ありません。

3. 代表者による全体評価

エコアクション21の活動に取り組み準備期間含め3年の経過になるが、まだ社員個人の地球環境保全という認識が不足しているように感じる。

この認識を深めていかなければ、目標を立て活動しても、結果に満足いくまでの達成は難しいのではないかと思う。そういう意味で今後は、社員一人一人が目標をつくり(認識を持ち)その達成に努力するよう指示をする。